

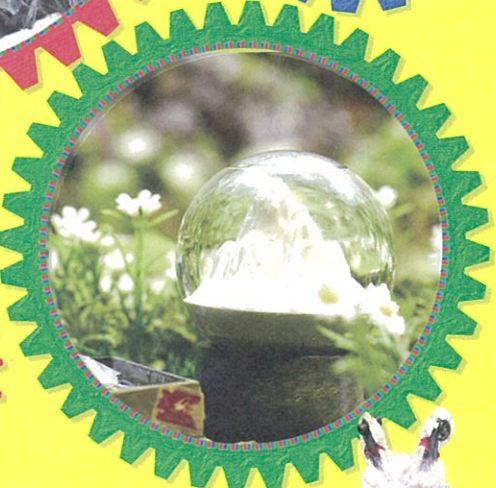
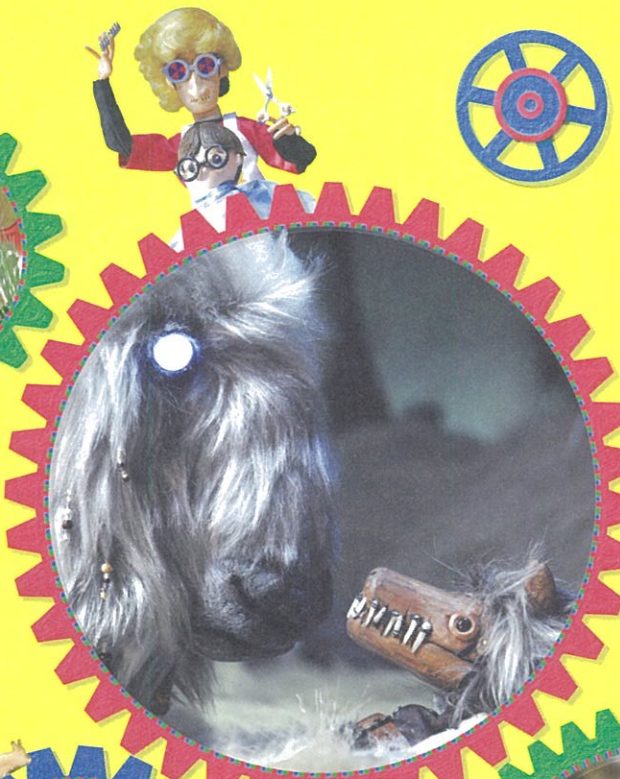
村田朋泰特集

夢の記憶装置

Tomoyasu Kurata



アニメーションの
ファンタジア
パペット・
レヴュー



最新作『松が枝を結び』から
初期の代表作『朱の路』まで、
村田朋泰の傑作を一挙公開！



監督・脚本：村田朋泰 音楽：田戸通英
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（『松が枝を結び』）
 製作：TMC 配給：ノム、TMC ©TMC ©NHK・NEP・TMC

「僕にとって、映像は記憶装置」

“記憶”をテーマに、CGを用いずに アナログにこだわって作り上げられた、 驚異のパペット・ワンダーランド!

NHKブチブチ・アニメ『森のレシオ』やMr.ChildrenのMV『HERO』などを手がけ、細やかで情感溢れる造形と、奇天烈で、温かさや哀しさが同居する唯一無二の世界観で多くの人々を魅了し続けている映像作家・村田朋泰。アナログにこだわり、コマ撮りで風や繊細な動きを表現する制作手法は、映画監督・山下敦弘氏に「変態」と言わしめるほどの徹底ぶり。本特集上映では、“記憶”や“祈り”をテーマに、“生と死のあいだの世界”を描いた最新作『松が枝を結び』を劇場初公開。さらに劇場版『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』の主題歌Galileo Galilei『サークルゲーム』のMVに使われた『木ノ花ノ咲クヤ森』、実在した理容店から着想を得て、古き良き昭和の世界を背景に、一家に起こる不思議な出来事を描いた『家族デッキ』、娘を亡した傷心のピアニストが体験する夢の旅を描いた『朱の路』など、15年にわたる創作の中から厳選したパペット・アニメーションを一挙上映!

〈生と死にまつわる記憶の旅〉シリーズ



1幕『木ノ花ノ咲クヤ森』

過去を紡ごうとするウルフ。
過去を消し去ろうとするハンター。

記憶を失ったウルフは過去の痕跡を探しながら、すべてを消し去ろうとする二人のハンターから逃走している。やがて世界の縁にたどりつき、そこで彼が見たものは……。

●シュトゥットガルト国際アニメーション映画祭2016入選
●第10回国際アニメーションフェスティバルANCA入選
▶11分5秒 / 2015年



2幕『天地』

自然現象と人間感情の習合を
コンセプチュアルに映像化。

火山、地震、気候の変化によって日本列島が生まれる「事の始まり」。やがて生命が誕生し、人間が生まれることによって、“感情”の衝突が起こる。

▶10分31秒 / 2016年



3幕『松が枝を結び』

「現世と黄泉」「双生児」「断層」。対になるモノ同士のぶつかり合いで生まれる巨大な力と、うつろいゆくものへの無常観。

震災で引き裂かれた双子の姉妹。死者となった少女は、現在と過去を行き来しながら記憶を取り戻していく。月と太陽が重なり、過去と現実の断層がつながった時、うさぎ男は少女を導き……。

▶16分33秒 / 2017年

村田朋泰 プロフィール

1974年東京出身。東京芸術大学修士課程美術研究科デザイン専攻伝達造形修了後、コマ撮りアニメーション制作会社TMCを設立。言葉やセリフを排し、仕草や佇まいによる演出で心情を表現し、光の陰影や雨風の移ろう風景を巧みに織り込み「不在」「喪失」「記憶」「死生観」を題材とした作品を通して日本人のアイデンティティを探る制作をしている。現在、エテレ「ブチブチ・アニメ」にて『森のレシオ』を放送中他、ランダル・ジャレル原作の『陸に上がった人魚のはなし』を制作中。



〈路〉シリーズ

『朱の路』

娘を亡した傷心のピアニスト。
彼が体験する夢の旅。

暗く長いトンネルを走る列車。悲しみを抱えた男は車内で朱の花を差し出す少女と出会い、短い旅へと向かう。その不思議な旅の終わりに、男は長く暗いトンネルを抜け……。

●第2回国際アニメーションフェスティバル アニフェス2003トロン入選 ●第9回広島国際アニメーションフェスティバル優秀賞 ●第アートミュージアム企画 Young Video Artists Initiative佳作
▶13分11秒 / 2002年

『白の路』

短い季節の思い出と切ない痛み。
Mr.Children『HERO』
MV作品。

少年と少女が過ごした短い秋の思い出。それは大人になっても忘れることのない記憶と切ない痛み。男は冬の始まりに思い出の地を訪れ、自分が少年だったころの真っ白な路を辿っていく。

▶14分35秒 / 2003年

家族デッキ

『家族デッキ』

東京下町のタカタ理容店に住む
七福神の“髪様”が起こすイタズラ。

理容店を営む高田家は、両親と中学生のお姉さん、小学生の弟の4人家族。この店に住む七福神の“髪様”のイタズラで、高田家の日常にちょっとした不思議な出来事が起こる。

●第13回文化庁メディア芸術祭 / 審査委員会推薦作品
●SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2010 / 奨励賞
▶『家族デッキVol.1 高田家の春』 4分13秒 / 2007年
▶『家族デッキVol.2 家族旅行』 5分7秒 / 2007年



森のレシオ

『こうかんとり』

少女レシオと友だちのジャモンがゆく、
不思議な世界の不思議なお話。

鍵を集めているレシオはジャモンと大きな鳥かごに乗って、こうかんとりのヤップに会いに行く。ヤップは空の神様で、いろんなものを物々交換している。彼らは交渉を始めるが……。

▶5分 / 2017年



監督・脚本:村田朋泰 音楽:田戸達英

5月20日(日)～5月27日(日) 東京都写真美術館ホールにて ※5月21日(月)は休映

プログラムA 『家族デッキ』(Vol.1 高田家の春) (Vol.2 家族旅行) / 〈路〉シリーズ『朱の路』『白の路』 / 〈生と死を巡る旅〉シリーズ 1幕『木ノ花ノ咲クヤ森』、2幕『天地』、3幕『松が枝を結び』

プログラムB 『睡蓮の人』 / 〈路〉シリーズ『藍の路』『檸檬の路』 / 『家族デッキ』(Vol.3) (Vol.4)

○タイムテーブル 12:20 B 13:40 A 15:30 B 16:50 A

○当日一般:A-1,500円(税込)※当日一般料金割引あり。詳細は会場HPにて。B-1,100円(税込)※各種割引なし

東京都写真美術館ホール TEL:03-3280-0099 (代表) www.topmuseum.jp
JR 恵比寿駅東口改札より徒歩7分、地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
恵比寿ガーデンプレイス内

至渋谷 JR恵比寿駅 動く通路 恵比寿ガーデンプレイス
日比谷線恵比寿駅1番出口 TOP MUSEUM

●お問い合わせ:ノーム TEL:03-5919-1542